

1 令和6年度の主な取組

1 スポーツイベントの実施環境の向上

①スポーツイベント実施サポートブックの作成 **NEW**

時期：令和7年3月

概要：スポーツイベント等を実施するにあたり、誰もが参加しやすくスポーツに親しむことができるイベントとするための注意点や、ヒントなどをとりまとめたサポートブックを作成し、庁内で共有する。

成果：関係部署の所管事業において、サポートブックを参考にした取組や既存イベントの改善結果等を調査、把握し、好事例の横展開を図ることにより、更なる改善点を見出し、より効果的なイベントとして企画運営することができる。



②パラスポーツ情報集の更新

時期：令和7年2月

概要：既存の情報集に掲載している情報を精査するとともに、利用者にとって見やすいものとなるようレイアウトやデザインに改善する。

成果：利用者にとって見やすく興味を引くレイアウトやデザインとし、実際に使用する庁内や団体等にアンケートを行い、寄せられた意見等を踏まえ、実際の使用ニーズに沿った実用的な内容に更新することにより、パラスポーツに関する情報を求めている方に対して効果的に情報提供できることに加え、パラスポーツを知ってもらい導入として活用できる。



③アドバイザーミーティングの開催 **NEW**

時期：令和7年1月31日（金）

概要：アドバイザーと事業担当職員等による対面形式の座談会を開催し、質疑を通じて、個々の事案に応じたより具体的なかつ実践的な改善策・アイデア等についてのアドバイスを受けることで、今後の事業展開のヒントとするとともに課題の解決を図る。また、実際にイベント業務に従事する職員が知見を有するアドバイザーと直接意見を交わすことにより、スポーツによる共生社会の実現に向けたインクルーシブな視点や、心のバリアフリーの必要性を肌身に感じてもらうことで、改めて関係職員へのかかわりパラメータメント推進ビジョンの理念の意識付けにつなげる。

参加職員：11名

主な助言：・開催目的の明確化を図り、それを達成するための最適なアプローチを考え、企画開催することで、参加者増や満足度の向上につながる。
・一つのメインとなる遊びやゲームの中にパラスポーツの要素を入れたミニ体験を複数入れることで、限られたスペースの中で、多くの種目を体験してもらうことができる。

成果：実施後アンケートでは、参加者全員が、「アドバイスを今後の事業に活かすことができそう」、「かわさきパラメータメントを意識するようになった・意識が高まった」と回答しており、アドバイザー意見等を参考とした、各部署における取組の改善が期待される。



1 令和6年度の主な取組

2 インクルーシブなスポーツ大会等の実施

①川崎市スポーツフェスタ

時期：令和6年10月14日（月・祝）

場所：等々力緑地

概要：誰でも楽しめるスポーツ体験ブースの出展に加え、家族連れや小学生の友達同士など様々な参加形態でも楽しむことができるプログラムに改善し、多種多様な方々が気軽に参加できるイベントとして開催。



成果：●誰でも楽しめるスポーツ体験【5種目】

≫デジタルチャンバラ（LED刀でのチャンバラをスマホで判定）

≫500歩サッカー（500歩しか動けず残り0歩で退場） など

●パラスポーツ体験【6種目】

≫ペガールボール、車いすバスケ、ブラインドサッカー など

●ステージ企画でインクルーシブダンスが出演

●キッチンカーを拡充するとともに、ステージ前にテーブル・イスを配置することで、家族連れ等の昼またぎの滞在につながった。



②中原スポーツまつり

時期：令和7年2月24日（月・祝）

場所：とどろきアリーナ、アリーナ前レンガ広場、催し物広場

概要：障害のあるなしや年齢に関わらず、誰もが楽しむことができるスポーツ種目等の体験ブースを出展。

成果：アドバイザーからの提案を踏まえ改善を実施

●会場レイアウトの改善

≫体験ブースをジャンルごとにまとめて配置

≫入口から会場全体が認識できるように大きく目立つ種目を奥に配置

≫車いす参加者の移動に配慮した通路幅の確保

●誰でも参加できる種目の追加

≫パラ射撃、ポッチャ、卓球バレー、デフサッカー、デフヨガ など

●競技用具の代替となる日用品を紹介（モルックをペットボトルを用いて体験）



③市長杯ポッチャ大会

時期：令和7年1月18日（土）

場所：カルッツかわさき

概要：障害者がスポーツをする機会を創出するとともに、スポーツを楽しみながら障害に対する理解が高められる機会を提供するために開催。

成果：最年少5歳（保育園チーム）から最高齢90歳まで、障害、年齢に関わらず46チーム138名が参加。ポッチャを通じて、多世代、多種多様な参加者間での交流が実現した。



1 令和6年度の主な取組

3 パラスポーツに関する情報の発信

市ホームページにおけるパラスポーツコンテンツの改善

時期：令和6年12月

概要：パラスポーツコンテンツに混在している情報を整理し、項目ごとに分類して掲載する。

成果：パラスポーツに関連する情報を、「する」「みる」「ささえる」という項目ごとに、関連する情報を紐づけて掲載することで、閲覧する方にとってアクセスしやすいものへと改善した。

4 パラスポーツの更なる普及促進

ボッチャ体験会

時期：令和6年9月10日（火）

場所：田島支援学校

概要：令和6年9月に開催された「第3回ボッチャオープンチャンピオンシップ」のプレイバントとして、大会主催者である日本ボッチャ協会と連携して開催。

成果：生徒6名、学校関係者15名程度が参加し、ただ体験するのではなく技術力の向上などの要素を入れて実施したことで、生徒も楽しみながら体験できたことから、学校関係者からも「普段よりも子どもたちが積極的で、大変楽しんでいた」と、好評価であった。



2 令和7年度の取組の方向性

【現在の状況】

◎ 「令和6年度かわさきパラムーブメント意識調査」の結果では、障害者手帳を持っている方で、スポーツへの参加（する、みる、ささえる）に関してバリア（障壁）を感じている方の割合は、令和5年度調査に比べ2.9ポイント減少している。

※バリアを感じている方の割合

令和6年度調査：56.4%（令和5年度調査：59.3% 令和4年度調査：64.3%）

【令和7年度の方向性】

≫意識調査では一定の効果が見られるものの、誰もがスポーツに親しむことができるようになるためには、各事業において継続した見直し・改善が必要であるため、「スポーツイベントサポートブック」や「パラスポーツ情報集」等の活用を一層促進するとともに、更なる共生社会の実現に向けた取組を引き続き検討していく。

3 市民等の意見聴取

スポーツイベントや情報の発信等において、障害のあるなしや年齢、国籍、性別などに関わらず誰もがスポーツに親しむことができる手法について、アドバイザー等を活用し、意見を求める。